

卒業研究 1(分子細胞薬理学分野)

責任者・コーディネーター

分子細胞薬理学分野 奈良場 博昭 教授

・教育成果（アウトカム）

本分野における卒業研究 1 では、炎症性疾患、循環器系疾患、糖尿病などに関して、その病態の解明や新たな治療法開発をめざした基礎的研究を中心に研究を行う。卒業研究 1 では 5、6 年次での卒業研究 2 に備え、培養細胞やマウス等の実験動物の取り扱い方法、生理学・生化学的、分子生物学的、分子生理学的手法などの種々の基本的実験手技を習得する。また、英語論文を含む学術論文の読解、実験計画の立案、実験結果の解釈について学ぶとともに、実験結果をわかりやすく記録し発表する技術についても学習することで、卒業研究 2 を実施できる力量を養う。卒業研究のテーマは当分野の研究分野と各配属学生の興味・適性を勘案し、相談の上決定する。

(ディプロマ・ポリシー：2, 5, 7, 8, 9, 10)

・到達目標（SBO）

1. 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(58) (技能)
2. 必要な情報を的確に収集し、信憑性について判断できる。(59) (知識・技能)
3. 得られた情報を論理的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。(60) (技能)
4. インターネット上の情報が持つ意味・特徴を知り、情報倫理、情報セキュリティに配慮して活用できる。(61) (知識・態度)
5. 滅菌、消毒、無菌操作を適切に行った上で細菌や培養細胞の取り扱いができる。(930,☆)
6. 核酸、タンパク質について各種実験手法（酵素反応、PCR 法、電気泳動）を実施できる。(372)
7. 代表的な実験動物、遺伝子組換え生物の適正な取り扱いを説明できる。(577,373,☆)
8. 基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。(1061)
9. 研究には自立性と独創性が求められていることを知る。(1062)
10. 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。(1063) (知識・技能・態度)
11. 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。(1064) (態度)
12. 自らが実施する研究に係る法令、指針について概説できる。(1065)
13. 研究の実施、患者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明できる。(1066)
14. 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。(1067) (態度)
15. 研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解、評価できる。(1068) (知識・技能)
16. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案する。(1069) (知識・技能)
17. 研究計画に沿って、意欲的に研究を実施できる。(1070) (技能・態度)
18. 研究の各プロセスを適切に記録し、結果を考察する。(1071) (知識・技能・態度)
19. 研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答ができる。(1072) (知識・技能・態度)
20. 研究成果を報告書や論文としてまとめることができる。(1073) (技能)
21. 心臓・血管・代謝系疾患治療薬の探索、合成、構造活性相関、薬理作用、臨床応用、体内動態、副作用、相互作用などについて調査し、発表できる。(☆)(1068)
22. 本邦における難治性循環器疾患の治療方針を理解し、新たな治療法確立への課題や解決策について議論できる(☆)(1068)
23. 糖尿病研究などの現状について説明できる。(☆)
24. アレルギーや炎症反応に関与する生理活性物質の産生制御機構を理解し、分子生物学的な解析法を習得する。(☆)

・実習日程

コマ数	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
60	分子細胞薬理学分野	奈良場 博昭 教授	<p>細胞生物学、薬学実習 1、生化学、解剖学、機能形態学などで学んだ薬学知識と技能、態度を基礎として、ヒト疾患の背景と先端的な治療薬の開発について実践的に学ぶことを目標として、個別の研究テーマについて、実験科学的な自主的学習を行い、問題解決型基盤能力の向上と生涯学習の習慣を確立する。</p> <p>1. アレルギーや炎症反応に関与する生理活性物質の産生制御機構を分子細胞生物学的に解析することが出来る。(☆)</p> <p>2. 実験動物を用いて、炎症性病態モデルを作成し、病態生理学的に解析することが出来る。(☆)</p>
60	分子細胞薬理学分野	藤原 俊朗 講師	<p>分子細胞イメージングに用いられる手法について、その原理について学び、取得されたイメージングデータを解析する。計測対象ごとに個別の研究テーマについて、その目的を明確にし、実験科学的な視点から対象に適した計測方法の選択基準を確立・解析する。また、得られた結果について抄録や論文としてまとめ、学会や研究会にて発表する。</p> <p>1. MRIにて計測したデータに対して、適切な数理モデルを選択し、関連するパラメータを推定することができる。(☆)</p> <p>2. 推定したパラメータが意味する現象や病態の状態を理解し、統計的な手法を用いて、異なるグループ間の差や相関についても説明することができる。(☆)</p>
60	分子細胞薬理学分野	高橋 巖 特任講師	<p>インスリン産生膵β細胞におけるヘパラン硫酸プロテオグリカン／複合糖質の役割に着目し、糖尿病の病態解明や新たな治療戦略を目指す。糖尿病や膵β細胞機能に対する理解を深めるとともに、研究計画立案から研究実施、研究成果の報告会などを通じて、論理的思考力・問題解決能力・プレゼンテーション力を身につける。</p> <p>1. 薬学関連分野の英語文献の内容を簡潔に要約し、説明できる。(☆)</p> <p>2. 滅菌、消毒、無菌操作を適切に行った上で細菌や培養細胞の取り扱いができる。</p> <p>3. 核酸、タンパク質について各種実験手法（酵素反応、PCR法、電気泳動）を実施できる。</p> <p>4. 代表的な実験動物、遺伝子組換え生物の適正な取り扱いを説明できる。(☆)</p> <p>5. 実験から得た結果を科学的に考察し、記録としてまとめ、説明することができる。</p>

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	詳解 薬理学	香月 博志、成田 年、川端 篤史 編	廣川書店	2015
参	ラング・デール薬理学 原書 8 版	渡邊 直樹 監訳	丸善出版	2018
参	機能形態学 改訂第 4 版	櫻田 忍、櫻田 司 編	南江堂	2018
参	ぜんぶわかる人体解剖図	坂井 建雄、橋元 尚詞 著	成美堂出版	2010
参	Principles of pharmacology : the pathophysiologic basis of drug therapy 4th ed.	David E. Golan et al., (ed.)	Wolters Kluwer	2017
参	Mechanosensitivity in Cells and Tissues Vol.1-6	Andre Kamkin, Irina Kiselva (ed.)	SPRINGER	2008~ 2012
参	Cardiac electrophysiology : from cell to bedside 7th ed.	Douglas P. Zipes and Jose Jalife	SAUNDERS	2018
参	Optical Mapping of Cardiac Excitation and Arrhythmias	David Rosenbaum and Jose Jalife	Futura Pub	2001
参	非侵襲・可視化技術ハンドブック：ナノ・バイオ・医療から情報システムまで	小川 誠二、上野 照剛 編	エヌ・ティーエス	2007
参	Adipose Tissue in Health and Disease	James G. Granneman (ed.)	Wiley-Blackwell	2010
参	Pulmonary Hypertension(Lung Biology in Health and Disease)	Marc Humbert, Joseph P., III Lynch 編	Informa Healthcare	2009
参	これでわかる拡散MRI 第 3 版	青木 茂樹、増谷 佳孝、高原 太郎、阿部 修 編著	Gakken	2013
推	4 Steps エクセル統計 第 4 版	柳井 久江 著	オーエムエス出版	2015

・特記事項・その他

実験動物や培養細胞を用いるため、長期に渉り根気強く責任感をもって実験を遂行すること。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	MacLab 8 チャンネル	1	ラットの血圧測定のため
実習	Mac Lab 用 PC 及びレーザードプラ血流計	1	ラットの血圧・血流測定のため
実習	マウス用呼吸器	1	マウスの呼吸管理のため
実習	マスターフレックスポンプ	1	タイロード液灌流のため
実習	純水製造装置	1	タイロード液調製のため
実習	パッチクランプシステム	1	心筋の各種イオン電流の測定のため
実習	プローブ式超音波細胞破碎機	1	細胞を破碎するため
実習	マイクロセンサ圧力計測システム	1	マウスの血圧測定のため
実習	電子天秤	1	試薬調製のため
実習	ランゲンドルフ用簡易電極マニピュレーター	1	電気刺激のため
実習	pH メータ	1	タイロード液等の pH 調整
実習	液晶プロジェクター	1	研究発表のため
実習	パソコン	5	薬理学シミュレーション実験・卒業研究用
実習	低速冷却遠心機 himac CF7D2 (日立)	1	遠心分離
実習	冷却装置付きマイクロ遠心機 TMA-200 (トミー精機)	1	遠心分離
実習	バイオ用クリーンベンチ MCV-91-BNF (三洋電機バイオシステム)	1	無菌操作
実習	クリーンベンチ MCV-131BNF (三洋電機バイオシステム)	1	無菌操作
実習	CO2 インキュベーター MCO-18AIC (UV) (三洋電機バイオシステム)	1	細胞培養
実習	生化学用細胞伸展装置 ST-140 (ストレックス社)	1	細胞への伸展刺激負荷
実習	位相差・蛍光顕微鏡+ plusDIC Axiovert40 (ZEISS)	1	細胞観察
実習	循環恒温水槽 NTT-20S (東京理化)	1	培養液・バッファー等の保温
実習	分光光度計 U-1800 (日立)	1	吸光度測定

実習	ヌクレオフェクターシステム	1	培養細胞への遺伝子導入実験
実習	分離型ライトガイドセット	1	動物 in vivo 実験
講義	IC Card Gate2	1	学習資料印刷用
実習	中央実験台 1	2	生物学実験卓
実習	中央実験台用試薬棚	4	生物学実験卓
実習	天秤台	1	試薬秤量
実習	作業台	2	動物実験
実習	暗幕	1	光学マッピング
実習	パッチクランプ用ラック	1	パッチクランプ実験
実習	心電図・体温テレメトリーシステム	1	慢性的心電図測定
実習	ズーム式実体顕微鏡	1	動物 in vivo 実験
実習	超音波診断装置 Pro Sound	1	心機能測定
実習	心内心電図測定カテーテルシステム マウス用一式	1	心臓不整脈誘発
実習	循環式アスピレーター	1	分子生物学実験
実習	PowerGen ホモジナイザー	1	組織のホモジナイズ
実習	UV トランスイルミネーター	1	電気泳動ゲルのバンド観察
実習	顕微鏡用デジタルカメラ	1	心臓手術の観察
実習	ブレインビジョン製光学マッピング装置	1	心臓不整脈の解析
実習	アトー ポンプ	1	パッチクランプ実験
実習	ドラフトチャンバー (CBR-Sc15-F、島津理化)	2	試薬の調整など
実習	乾燥機 (MOV-212 (U)、PHCbi)	1	実験器具の乾燥
実習	PCR (9700G、ABI)	1	遺伝子の増幅など
実習	製氷機 (FM-120F、ホシザキ)	1	サンプルの保管など
実習	冷却高速遠心機 (日立)	2	試料の高速冷却遠心
実習	クリーンベンチ (MCV-131BNF、PHCbi)	1	細胞の培養等の無菌操作
実習	CO2 インキュベーター (MCV 18 AIC(UV)、PHCbi)	1	細胞の培養

実習	オートクレーブ (LBS-325、トミー精工)	1	培養器具の滅菌など
実習	ディープフリーザー (-80℃) (MDF-392、PHCbi)	1	試料や試薬の超低温保存
実習	恒温インキュベーター (MIR-153、PHCbi)	1	大腸菌の培養
実習	4℃チャンバー (MPR-1410、PHCbi)	1	低温での実験操作や試薬の保管
実習	4℃フリーザー (MPR-312D(CN)、PHCbi)	1	培養試薬の冷蔵保存
実習	-30℃フリーザー (MDF-U537、PHCbi)	1	培養試薬の凍結保存
実習	位相差顕微鏡+冷却CCDカメラ (ツアイス)	1	培養細胞の観察と記録
実習	セーフティキャビネット (MHE131AJ、PHCbi)	1	無菌操作
実習	自動セルカウンター(Countess II、ライフテクノロジーズ)	1	細胞数の計測